



社会福祉法人 以和貴会

小規模多機能型居宅介護事業所

年輪通信



令和3年7月発行

レクリエーション



リハビリ体操



カレンダー作成



七夕飾り作成 ~想い思いに願いを込めて~

七夕は「たなばた」または「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭り行事で、一年間の重要な節句を表す“五節句”のひとつにも数えられています。“五節句”とは人日(じんじつ)の節句(1月7日)、上巳(じょうし)の節句(3月3日)、端午(たんご)の節句(5月5日)、重陽(ちょうよう)の節句(9月9日)の4つの節句に7月7日の七夕(たなばた)を加え、五節句と呼ばれているそうです。七夕の由来は諸説あるそうが、簡単にご紹介致しますと、①昔の7月7日は“水の神様”を迎える行事を行っており“棚機女(たなばたつめ)”と言われる女の人が、病気や悪いことが起こらないようにと、夜通し布を織り、想いの詰まった神聖な布をお供えたそうです。その時の布を織る機械の事を“棚機(たなばた)”と呼んでいたと言われていたこと。②中国のお祭りが由来というもので、古来中国には織姫(おりひめ)と彦星(ひこぼし)の伝説があり、織姫が織り物が上手だったことから、7月7日に織り物や縫物の上達を願うお祭りが行われていたということ。この2つが合わさって、現在の日本の七夕になったといわれています。左の写真は、小規模年輪のご利用者の皆様方が笹に様々な飾り付けをした後に、想い思いの願い事を書いた短冊を結び付けたものです。



紫陽花見学



■6月(6/1~6/30)利用実績■

- 登録数…22名(最大登録定員29名)
 - 通い…423名(1日最大利用定員18名)
 - 訪問…341回
 - 宿泊…87名(1日最大利用定員6名)
- ※通い、訪問、宿泊の利用人数(回数)は延べ人数(回数)になります。
 ※登録定員にまだ空きがございますのでご利用、ご相談につきましては右記までお問合せ下さい。(担当:古川)

— 理念 —

私たちは、ご利用者様が住み慣れた地域でその人らしく安心して、これまでの生活が続けられるよう地域の方々と共にご本人の「暮らし」を支えていきます。

— お問合せ先 —

社会福祉法人以和貴会
 小規模多機能型居宅介護事業所 年輪
 鹿児島県鹿屋市串良町下小原3105-2
 TEL:0994-62-8805
 FAX:0994-62-8806